



平成19年3月期 決算短信

平成19年5月15日

上場会社名 株式会社 丸 順 上場取引所 名証二部
 コード番号 3 4 2 2 URL <http://www.marujun.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)今川 喜章
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)森 源夫 TEL (0584)89-8181
 定時株主総会開催予定日 平成19年6月21日 配当支払開始予定日 平成19年6月22日
 有価証券報告書提出予定日 平成19年6月21日

(百万円未満切捨て)

1. 19年3月期の連結業績 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期	40,252	15.8	1,790	68.0	1,338	70.2	656	85.2
18年3月期	34,747	19.2	1,065	2.6	786	△5.7	354	△22.6

	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 営業利益率	
	円	銭	円	銭	%		%		%	
19年3月期	67	27	—	—	10.0		3.8		4.4	
18年3月期	40	43	—	—	7.1		2.6		3.1	

(参考) 持分法投資損益 19年3月期 △1百万円 18年3月期 △9百万円

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
19年3月期	36,179		9,564		19.6		727 09	
18年3月期	34,137		5,979		17.5		612 21	

(参考) 自己資本 19年3月期 7,101百万円 18年3月期 一百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
19年3月期	6,348		△6,274		△1,328		793	
18年3月期	2,460		△6,659		5,141		1,986	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金			配当金総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	中間期末	期末	年間			
18年3月期	円 銭 4 00	円 銭 4 00	円 銭 8 00	百万円 74	% 20.9	% 1.5
19年3月期	円 銭 4 00	円 銭 4 00	円 銭 8 00	百万円 78	% 11.9	% 1.2
20年3月期(予想)	円 銭 4 00	円 銭 4 00	円 銭 8 00	—	% 11.2	% —

3. 20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	20,000	1.9	850	△0.5	600	5.6	300	7.3	30	72
通期	42,000	4.3	1,900	6.1	1,400	4.6	700	6.6	71	67

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(注) 詳細は、6ページ「企業集団の状況」をご覧ください。

(2) 連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔(注) 詳細は、14ページ「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 19年3月期 9,771,000株 18年3月期 9,771,000株

② 期末自己株式数 19年3月期 4,390株 18年3月期 4,390株

(注) 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、17ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 19年3月期の個別業績（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期	22,104	19.2	688	46.5	655	64.3	357	151.4
18年3月期	18,542	1.6	470	△40.5	399	△39.9	142	△58.2

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期	36	58	—	—
18年3月期	16	20	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円		円	銭
19年3月期	22,879	5,697	24.9	583	31		
18年3月期	24,094	5,324	22.1	545	19		

(参考) 自己資本 19年3月期 5,697百万円 18年3月期 ー百万円

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項は、3ページ「1. 経営成績（1）経営成績に関する分析」をご参照ください。

1 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

①当期の概況

当連結会計年度における世界経済は、中国をはじめとしたアジア諸国が高成長を維持するなか、米国、欧州の景気も安定して推移し、わが国経済も好調な企業収益を背景に設備投資および輸出が引き続き増加したことなどにより、景気回復期間としては戦後最長となりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内販売は、軽自動車为期前半の原油価格高騰や新型車投入に伴う市場活性化により過去最高の販売台数となったものの、乗用車（登録車）については、自動車使用期間の長期化などを背景に減少いたしました。また、海外においては、欧州およびアジアで販売が増加し、世界規模で生産は増加いたしました。これらの状況のなか、自動車部品業界では、受注量の拡大と同時に、激しい競争に伴う部品の低価格化が一段と進んでおります。

このような環境のもとで、当社グループは、国内においては、軽量化、高品質化を可能とする新たな加工技術や安全技術等の研究開発活動で受注の拡大や生産性の向上に積極的に取組んでまいりました。

また、海外におきましては、急速な拡大を続けるアジア地域での生産増大を図ってまいりました。平成18年5月には、当社子会社であるタイ・マルジュン社の第五工場が稼働、平成18年7月には、同武漢丸順汽车配件有限公司の新工場が稼働、平成18年10月には、同広州丸順汽车配件有限公司の金型工場を稼働させるなど、海外拠点の一層の充実を図りました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は40,252百万円（前期比15.8%増）、営業利益は1,790百万円（前期比68.0%増）となり、経常利益は1,338百万円（前期比70.2%増）、当期純利益は656百万円（前期比85.2%増）の増収増益となりました。

②セグメント別の概況

当グループは、プレス成形部品事業、金型事業、自動車販売事業から成り立っておりますが、事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりであります。

[プレス成形部品事業]

プレス成形部品事業のうち、車体プレス部品では、海外向け部品の増加、タイ、中国子会社の売上増により、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。精密プレス部品では、モデルチェンジにより生産が減少し、売上高は減少いたしました。樹脂製品につきましては、住設部品および自動車部品がともに好調で売上高、営業利益ともに増加いたしました。

以上の結果、売上高は34,507百万円（前期比20.8%増）、営業利益は2,153百万円（前期比58.4%増）となりました。

[金型事業]

金型事業のうち、金型につきましては、短納期化、品質の高度化が進むなど業界を取り巻く環境は依然として厳しく、国内では金型の売上高、営業利益とも減少となりました。海外では、タイ・マルジュン社において開発機種が増え売上高は増加いたしました。治具・検査具では、国内は海外向けの検査具の受注が拡大したため売上高、営業利益ともに増加いたしました。

以上の結果、売上高は3,410百万円（前期比1.8%増）、営業利益は511百万円（前期比0.9%減）となりました。

[自動車販売事業]

自動車販売事業におきましては、自動車保有期間の長期化等による国内需要の低下を背景に売上高は減少いたしました。営業損失は減少いたしました。

以上の結果、売上高は2,902百万円（前期比7.5%減）、営業損失は22百万円（前期は44百万円の営業損失）となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

[日本]

国内におきましては、車体プレス部品、樹脂製品、試作品および治具・検査具の売上が前年同期を上回り、精密部品、金型および自動車販売事業の売上が低下した結果、売上高は24,995百万円（前期比15.4%増）、営業利益は1,529百万円（前期比28.3%増）となりました。

[アジア]

アジアにおきましては、中国およびタイの子会社の売上が増加し、売上高は16,931百万円（前期比19.1%増）、営業利益は985百万円（前期比53.9%増）となりました。

③次期の見通し

次期の見通しにつきましては、日本では、企業業績の改善を背景に底堅い成長を維持し、世界経済も安定的に推移するものと思われまます。当社の属する自動車業界につきましては、中国を中心とするアジア地域の生産は引き続き拡大傾向にあり、世界の自動車生産は、堅調に推移するものと予測されます。

このような経営環境のもと、当社グループは、中期3カ年経営計画の「MP21 ビジョン」を強力に展開することで体質改革のスピードを上げるとともに、急激に拡大する海外展開に対応し、国内外の各生産拠点における品質の一層のレベルアップと、コスト競争力の向上に積極的に取組んでまいります。

次期の業績予想につきましては、売上高42,000百万円(前期比4.3%増)、営業利益1,900百万円(前期比5.6%増)、経常利益1,400百万円(前期比3.9%増)、当期純利益700百万円(前期比6.6%増)を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債、純資産の状況

当連結会計年度における資産総額は、36,179百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,042百万円増加しました。これは主に、中国およびタイにおける設備投資の増加に伴う有形固定資産が2,607百万円増加、売上増加に伴う受取手形および売掛金が623百万円増加、棚卸資産が336百万円減少したことが要因であります。

負債総額は26,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ564百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が1,001百万円増加、長期借入金が1,711百万円減少したことが要因であります。

純資産につきましては、9,564百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,478百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が578百万円増加、為替換算調整勘定が450百万円増加したことが要因です。なお、前連結会計年度の純資産については、少数株主持分を加えた金額で比較しております。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、793百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,193百万円減少いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュフローは、6,348百万円（前年同期は2,460百万円）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益および設備投資による減価償却費の増加に加え、売上増に伴う仕入債務の増加などによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュフローは、△6,274百万円（前年同期は△6,659百万円）となりました。

これは主に、武漢丸順汽车配件有限公司の工場新設、新機種立ち上がりに伴う金型投資等の有形固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュフローは、△1,328百万円（前年同期は5,141百万円）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出が増加したためです。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成15年3月期	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期
自己資本比率	15.0%	15.1%	15.7%	17.5%	19.6%
時価ベースの自己資本比率	17.7%	16.2%	22.8%	36.6%	25.6%
債務償還年数	5.9年	6.0年	3.4年	6.8年	2.5年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	9.2	8.2	13.8	6.5	13.9

（注）

1. 各指標の算出方法は次のとおりです。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式（自己株式控除後）により算出しています。

4. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書における営業活動におけるキャッシュ・フローを使用しております。また、有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

5. タイ・マルジュン社および広州丸順汽车配件有限公司について、第45期から連結決算日に本決算に準じた仮決算を行っているため、第45期は平成14年1月1日から平成15年3月31日までの15カ月間のキャッシュ・フローを含めております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループの利益配分につきましては、株主の皆様に対する利益還元が経営の重要政策の一つであると考えており、配当性向、株主資本配当率、内部留保および今後の業績動向等を総合的に勘案し、長期的視点に立った安定的・継続的な成果配分を行うことを基本方針としております。また、45期からは株主優待制度を開始し利益配当と合わせ、今後とも、株主の皆様へのより一層の利益還元に努めてまいります。

上記の方針に基づき、当期における年間配当金は1株につき8円、中間配当金（4円）を差し引き、期末配当金は1株当たり4円とさせていただきます。予定です。

また、次期における年間配当金は8円（うち中間配当金4円）を計画しております。

2 企業集団の状況

最近の有価証券報告書（平成18年6月28日提出）における「事業系統図（事業の内容）」および「関係会社の状況」から重要な変更がないため開示を省略します。

3 経営方針

平成18年3月期決算短信（平成18年5月15日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略します。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

（当社ホームページ）

<http://www.marujun.co.jp/>

（名古屋証券取引所ホームページ）

<http://www.nse.or.jp/>

その他、会社の経営上重要な事項について、該当事項はありません。

4 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成18年3月31日)		当連結会計年度 (平成19年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金		2,681		1,688	
2 受取手形及び売掛金		6,158		6,782	
3 たな卸資産		2,990		2,654	
4 繰延税金資産		156		170	
5 その他		807		836	
貸倒引当金		△1		△1	
流動資産合計		12,794	37.5	12,131	33.5
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	※1	7,771		8,938	
減価償却累計額		△2,718	5,052	△3,162	5,775
(2) 機械装置及び運搬具	※1	12,637		15,124	
減価償却累計額		△7,916	4,720	△8,753	6,370
(3) 工具、器具及び備品	※1	22,416		26,056	
減価償却累計額		△17,836	4,579	△20,949	5,106
(4) 土地	※1		2,023		1,937
(5) 建設仮勘定			2,376		2,172
有形固定資産合計		18,753	54.9	21,361	59.0
2 無形固定資産		120	0.4	163	0.5
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	※1,2	2,069		2,353	
(2) 繰延税金資産		12		1	
(3) 前払年金費用		45		36	
(4) その他		371		149	
貸倒引当金		△29		△17	
投資その他の資産合計		2,468	7.2	2,523	7.0
固定資産合計		21,343	62.5	24,048	66.5
資産合計		34,137	100.0	36,179	100.0

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成18年3月31日)		当連結会計年度 (平成19年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形及び買掛金	※1	5,729		6,292	
2 短期借入金	※1,5	5,863		6,865	
3 未払法人税等		31		328	
4 賞与引当金		276		301	
5 役員賞与引当金		7		14	
6 その他		1,944		2,202	
流動負債合計		13,852	40.6	16,003	44.2
II 固定負債					
1 長期借入金	※1	10,887		9,175	
2 繰延税金負債		209		233	
3 退職給付引当金		508		566	
4 役員退職慰労引当金		100		103	
5 その他		493		533	
固定負債合計		12,198	35.7	10,612	29.3
負債合計		26,051	76.3	26,615	73.6
(少数株主持分)					
少数株主持分		2,106	6.2	—	—
(資本の部)					
I 資本金	※3	1,037	3.0	—	—
II 資本剰余金		935	2.7	—	—
III 利益剰余金		3,240	9.5	—	—
IV その他有価証券評価差額金		731	2.2	—	—
V 為替換算調整勘定		36	0.1	—	—
VI 自己株式	※4	△2	△0.0	—	—
資本合計		5,979	17.5	—	—
負債、少数株主持分 及び資本合計		34,137	100.0	—	—

区分	注記 番号	前連結会計年度 (平成18年3月31日)		当連結会計年度 (平成19年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金		—		1,037	
2 資本剰余金		—		935	
3 利益剰余金		—		3,819	
4 自己株式		—		△2	
株主資本合計		—	—	5,790	16.0
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価 差額金		—		823	
2 為替換算調整勘定		—		487	
評価・換算差額等合計		—	—	1,310	3.6
III 少数株主持分		—	—	2,463	6.8
純資産合計		—	—	9,564	26.4
負債純資産合計		—	—	36,179	100.0

(2) 連結損益計算書

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)			当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		
		金額(百万円)		百分比 (%)	金額(百万円)		百分比 (%)
I 売上高			34,747	100.0		40,252	100.0
II 売上原価	※2		30,499	87.8		34,955	86.8
売上総利益			4,247	12.2		5,296	13.2
III 販売費及び一般管理費	※1,2		3,182	9.1		3,506	8.7
営業利益			1,065	3.1		1,790	4.4
IV 営業外収益							
1 受取利息		8			9		
2 受取配当金		16			31		
3 為替差益		62			—		
4 受取地代家賃		8			9		
5 受取保険金		8			0		
6 その他		33	138	0.4	40	89	0.2
V 営業外費用							
1 支払利息		379			456		
2 持分法による投資損失		9			1		
3 為替差損		—			24		
4 その他		28	417	1.2	59	541	1.3
経常利益			786	2.3		1,338	3.3
VI 特別利益							
1 固定資産売却益	※3	5			8		
2 持分変動益		25			—		
3 その他		0	31	0.1	3	12	0.0
VII 特別損失							
1 固定資産売却損	※4	3			11		
2 固定資産廃棄損	※5	37			34		
3 減損損失	※6	82			27		
4 会員権評価損等		0			0		
5 貸倒引当金繰入額		2			—		
6 その他		1	127	0.4	—	73	0.2
税金等調整前 当期純利益			690	2.0		1,277	3.2
法人税、住民税 及び事業税		170			479		
法人税等調整額		46	217	0.6	△40	438	1.1
少数株主利益			118	0.4		181	0.5
当期純利益			354	1.0		656	1.6

(3) 連結剰余金計算書

		前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)	
(資本剰余金の部)			
I 資本剰余金期首残高			430
II 資本剰余金増加高			
1 増資による新株の発行		505	505
III 資本剰余金期末残高			935
(利益剰余金の部)			
I 利益剰余金期首残高			2,990
II 利益剰余金増加高			
1 当期純利益			354
III 利益剰余金減少高			
1 配当金		105	105
IV 利益剰余金期末残高			3,240

(4) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高(百万円)	1,037	935	3,240	△2	5,211
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当(注)			△78		△78
当期純利益			656		656
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計 (百万円)	—	—	578	—	578
平成19年3月31日残高(百万円)	1,037	935	3,819	△2	5,790

	評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高(百万円)	731	36	767	2,106	8,086
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当(注)					△78
当期純利益					656
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	92	450	543	356	899
連結会計年度中の変動額合計 (百万円)	92	450	543	356	1,478
平成19年3月31日残高(百万円)	823	487	1,310	2,463	9,564

(注)平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書

区分	注記 番号	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
		金額(百万円)	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益		690	1,277
減価償却費		3,290	4,139
減損損失		82	27
連結調整勘定償却額		1	—
貸倒引当金の増減額(減少:△)		△9	△13
賞与引当金の増減額(減少:△)		19	24
役員賞与引当金の増減額(減少:△)		△7	7
退職給付引当金の増減額(減少:△)		80	57
役員退職慰労引当金の増減額(減少:△)		12	3
受取利息及び受取配当金		△25	△40
支払利息		379	456
持分法による投資損益(利益:△)		9	1
固定資産売却益		△5	△8
固定資産売却損		—	11
固定資産廃棄損		37	34
持分変動益		△25	—
売上債権の増減額(増加:△)		△1,183	△199
たな卸資産の増減額(増加:△)		△334	475
仕入債務の増減額(減少:△)		832	179
その他		△572	452
小計		3,271	6,885
利息及び配当金の受取額		25	40
利息の支払額		△377	△437
法人税等の還付額		—	64
法人税等の支払額		△458	△205
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,460	6,348
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		△6,497	△6,212
有形固定資産の売却による収入		19	123
無形固定資産の取得による支出		△19	△67
投資有価証券の取得による支出		△152	△126
投資有価証券の売却による収入		0	—
その他(純額)		△10	8
投資活動によるキャッシュ・フロー		△6,659	△6,274
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入れによる収入		9,759	8,765
短期借入金の返済による支出		△10,125	△7,359
長期借入れによる収入		5,843	780
長期借入金の返済による支出		△2,887	△3,372
株式の発行による収入		1,004	—
少数株主からの払込みによる収入		1,060	—
配当金の支払額		△105	△78
少数株主への配当金の支払額		△26	△29
ファイナンス・リース債務の増加による収入		693	213
ファイナンス・リース債務の返済による支出		△74	△247
その他(純額)		△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー		5,141	△1,328
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		108	61
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)		1,051	△1,193
VI 現金及び現金同等物の期首残高		935	1,986
VII 現金及び現金同等物の期末残高	※1	1,986	793

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

最近の有価証券報告書（平成18年6月28日提出）における記載から重要な変更がないため開示を省略します。

(7) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更

（会計処理の変更）

<p>前連結会計年度 （自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）</p>	<p>当連結会計年度 （自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）</p>
<p>（固定資産の減損に係る会計基準） 当連結会計年度から「固定資産の減損に係る会計基準」（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年8月9日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日）を適用しております。 これにより税金等調整前当期純利益は82百万円減少しております。 なお、減損損失累計額については、改正後の連結財務諸表規則に基づき各資産の金額から直接控除しております。</p>	<p>（貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等） 当連結会計年度から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号）および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号）を適用しております。 これによる損益に与える影響はありません。 なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は7,101百万円であります。</p>

(8) 連結財務諸表に関する注記事項

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成18年3月31日)	当連結会計年度 (平成19年3月31日)																																																																		
<p>※1 担保資産及びその対応債務</p> <p>工場財団に属している資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">1,007百万円</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">291</td> </tr> <tr> <td>工具、器具及び備品</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td style="text-align: right;">437</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,739</td> </tr> </table> <p>上記に対応する債務</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">短期借入金</td> <td style="text-align: right;">1,607百万円</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td style="text-align: right;">4,688</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">6,295</td> </tr> </table> <p>工場財団に属していない資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">481百万円</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">560</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td style="text-align: right;">720</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券</td> <td style="text-align: right;">984</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,746</td> </tr> </table> <p>上記に対応する債務</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">支払手形及び買掛金</td> <td style="text-align: right;">280百万円</td> </tr> <tr> <td>短期借入金</td> <td style="text-align: right;">740</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td style="text-align: right;">3,030</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">4,050</td> </tr> </table>	建物及び構築物	1,007百万円	機械装置及び運搬具	291	工具、器具及び備品	2	土地	437	計	1,739	短期借入金	1,607百万円	長期借入金	4,688	計	6,295	建物及び構築物	481百万円	機械装置及び運搬具	560	土地	720	投資有価証券	984	計	2,746	支払手形及び買掛金	280百万円	短期借入金	740	長期借入金	3,030	計	4,050	<p>※1 担保資産及びその対応債務</p> <p>工場財団に属している資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">955百万円</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">244</td> </tr> <tr> <td>工具、器具及び備品</td> <td style="text-align: right;">2</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td style="text-align: right;">437</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,640</td> </tr> </table> <p>上記に対応する債務</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">短期借入金</td> <td style="text-align: right;">1,151百万円</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td style="text-align: right;">4,045</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">5,196</td> </tr> </table> <p>工場財団に属していない資産</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物及び構築物</td> <td style="text-align: right;">443百万円</td> </tr> <tr> <td>機械装置及び運搬具</td> <td style="text-align: right;">462</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td style="text-align: right;">492</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券</td> <td style="text-align: right;">1,109</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,508</td> </tr> </table> <p>上記に対応する債務</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">短期借入金</td> <td style="text-align: right;">747百万円</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td style="text-align: right;">2,515</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,262</td> </tr> </table>	建物及び構築物	955百万円	機械装置及び運搬具	244	工具、器具及び備品	2	土地	437	計	1,640	短期借入金	1,151百万円	長期借入金	4,045	計	5,196	建物及び構築物	443百万円	機械装置及び運搬具	462	土地	492	投資有価証券	1,109	計	2,508	短期借入金	747百万円	長期借入金	2,515	計	3,262
建物及び構築物	1,007百万円																																																																		
機械装置及び運搬具	291																																																																		
工具、器具及び備品	2																																																																		
土地	437																																																																		
計	1,739																																																																		
短期借入金	1,607百万円																																																																		
長期借入金	4,688																																																																		
計	6,295																																																																		
建物及び構築物	481百万円																																																																		
機械装置及び運搬具	560																																																																		
土地	720																																																																		
投資有価証券	984																																																																		
計	2,746																																																																		
支払手形及び買掛金	280百万円																																																																		
短期借入金	740																																																																		
長期借入金	3,030																																																																		
計	4,050																																																																		
建物及び構築物	955百万円																																																																		
機械装置及び運搬具	244																																																																		
工具、器具及び備品	2																																																																		
土地	437																																																																		
計	1,640																																																																		
短期借入金	1,151百万円																																																																		
長期借入金	4,045																																																																		
計	5,196																																																																		
建物及び構築物	443百万円																																																																		
機械装置及び運搬具	462																																																																		
土地	492																																																																		
投資有価証券	1,109																																																																		
計	2,508																																																																		
短期借入金	747百万円																																																																		
長期借入金	2,515																																																																		
計	3,262																																																																		
<p>※2 関連会社に対するもの</p> <p>投資有価証券(株式) 89百万円</p>	<p>※2 関連会社に対するもの</p> <p>投資有価証券(株式) 92百万円</p>																																																																		
<p>※3 当社の発行済株式総数は、普通株式9,771,000株であります。</p>	<p>※3 _____</p>																																																																		
<p>※4 当社が保有する自己株式の数は、普通株式4,390株であります。</p>	<p>※4 _____</p>																																																																		
<p>※5 当座借越契約</p> <p>当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行10行と当座借越契約を締結しております。これら契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当座借越極度額</td> <td style="text-align: right;">4,050百万円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">—</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">4,050</td> </tr> </table>	当座借越極度額	4,050百万円	借入実行残高	—	差引額	4,050	<p>※5 当座借越契約</p> <p>当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行9行と当座借越契約を締結しております。これら契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">当座借越極度額</td> <td style="text-align: right;">4,050百万円</td> </tr> <tr> <td>借入実行残高</td> <td style="text-align: right;">—</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">4,050</td> </tr> </table>	当座借越極度額	4,050百万円	借入実行残高	—	差引額	4,050																																																						
当座借越極度額	4,050百万円																																																																		
借入実行残高	—																																																																		
差引額	4,050																																																																		
当座借越極度額	4,050百万円																																																																		
借入実行残高	—																																																																		
差引額	4,050																																																																		

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)																																																						
<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>運搬費</td><td style="text-align: right;">782百万円</td></tr> <tr><td>役員報酬</td><td style="text-align: right;">148</td></tr> <tr><td>給料及び賞与</td><td style="text-align: right;">744</td></tr> <tr><td>役員賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">7</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">54</td></tr> <tr><td>役員退職慰労引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">12</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">31</td></tr> <tr><td>法定福利費</td><td style="text-align: right;">110</td></tr> <tr><td>福利厚生費</td><td style="text-align: right;">120</td></tr> <tr><td>旅費交通費</td><td style="text-align: right;">69</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td style="text-align: right;">111</td></tr> <tr><td>連結調整勘定償却額</td><td style="text-align: right;">1</td></tr> <tr><td>研究開発費</td><td style="text-align: right;">154</td></tr> <tr><td>地代家賃</td><td style="text-align: right;">88</td></tr> </table>	運搬費	782百万円	役員報酬	148	給料及び賞与	744	役員賞与引当金繰入額	7	賞与引当金繰入額	54	役員退職慰労引当金繰入額	12	退職給付費用	31	法定福利費	110	福利厚生費	120	旅費交通費	69	減価償却費	111	連結調整勘定償却額	1	研究開発費	154	地代家賃	88	<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>運搬費</td><td style="text-align: right;">951百万円</td></tr> <tr><td>役員報酬</td><td style="text-align: right;">124</td></tr> <tr><td>給料及び賞与</td><td style="text-align: right;">767</td></tr> <tr><td>役員賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">14</td></tr> <tr><td>賞与引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">56</td></tr> <tr><td>役員退職慰労引当金繰入額</td><td style="text-align: right;">12</td></tr> <tr><td>退職給付費用</td><td style="text-align: right;">27</td></tr> <tr><td>法定福利費</td><td style="text-align: right;">117</td></tr> <tr><td>福利厚生費</td><td style="text-align: right;">146</td></tr> <tr><td>旅費交通費</td><td style="text-align: right;">77</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td style="text-align: right;">196</td></tr> <tr><td>研究開発費</td><td style="text-align: right;">170</td></tr> <tr><td>地代家賃</td><td style="text-align: right;">116</td></tr> </table>	運搬費	951百万円	役員報酬	124	給料及び賞与	767	役員賞与引当金繰入額	14	賞与引当金繰入額	56	役員退職慰労引当金繰入額	12	退職給付費用	27	法定福利費	117	福利厚生費	146	旅費交通費	77	減価償却費	196	研究開発費	170	地代家賃	116
運搬費	782百万円																																																						
役員報酬	148																																																						
給料及び賞与	744																																																						
役員賞与引当金繰入額	7																																																						
賞与引当金繰入額	54																																																						
役員退職慰労引当金繰入額	12																																																						
退職給付費用	31																																																						
法定福利費	110																																																						
福利厚生費	120																																																						
旅費交通費	69																																																						
減価償却費	111																																																						
連結調整勘定償却額	1																																																						
研究開発費	154																																																						
地代家賃	88																																																						
運搬費	951百万円																																																						
役員報酬	124																																																						
給料及び賞与	767																																																						
役員賞与引当金繰入額	14																																																						
賞与引当金繰入額	56																																																						
役員退職慰労引当金繰入額	12																																																						
退職給付費用	27																																																						
法定福利費	117																																																						
福利厚生費	146																																																						
旅費交通費	77																																																						
減価償却費	196																																																						
研究開発費	170																																																						
地代家賃	116																																																						
<p>※2 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は、次のとおりであります。</p> <p style="text-align: right;">1,055百万円</p>	<p>※2 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は、次のとおりであります。</p> <p style="text-align: right;">1,162百万円</p>																																																						
<p>※3 固定資産売却益の内容は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>建物及び構築物</td><td style="text-align: right;">0百万円</td></tr> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td style="text-align: right;">2</td></tr> <tr><td>土地</td><td style="text-align: right;">1</td></tr> <tr><td>計</td><td style="text-align: right;">5</td></tr> </table>	建物及び構築物	0百万円	機械装置及び運搬具	2	土地	1	計	5	<p>※3 固定資産売却益の内容は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td style="text-align: right;">1百万円</td></tr> <tr><td>工具、器具及び備品</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>土地</td><td style="text-align: right;">7</td></tr> <tr><td>計</td><td style="text-align: right;">8</td></tr> </table>	機械装置及び運搬具	1百万円	工具、器具及び備品	0	土地	7	計	8																																						
建物及び構築物	0百万円																																																						
機械装置及び運搬具	2																																																						
土地	1																																																						
計	5																																																						
機械装置及び運搬具	1百万円																																																						
工具、器具及び備品	0																																																						
土地	7																																																						
計	8																																																						
<p>※4 固定資産売却損の内容は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td style="text-align: right;">3百万円</td></tr> </table>	機械装置及び運搬具	3百万円	<p>※4 固定資産売却損の内容は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td style="text-align: right;">11百万円</td></tr> <tr><td>工具、器具及び備品</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>計</td><td style="text-align: right;">11</td></tr> </table>	機械装置及び運搬具	11百万円	工具、器具及び備品	0	計	11																																														
機械装置及び運搬具	3百万円																																																						
機械装置及び運搬具	11百万円																																																						
工具、器具及び備品	0																																																						
計	11																																																						
<p>※5 固定資産廃棄損の内容は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>建物及び構築物</td><td style="text-align: right;">16百万円</td></tr> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td style="text-align: right;">8</td></tr> <tr><td>工具、器具及び備品</td><td style="text-align: right;">2</td></tr> <tr><td>撤去費用</td><td style="text-align: right;">10</td></tr> <tr><td>計</td><td style="text-align: right;">37</td></tr> </table>	建物及び構築物	16百万円	機械装置及び運搬具	8	工具、器具及び備品	2	撤去費用	10	計	37	<p>※5 固定資産廃棄損の内容は、次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>建物及び構築物</td><td style="text-align: right;">6百万円</td></tr> <tr><td>機械装置及び運搬具</td><td style="text-align: right;">24</td></tr> <tr><td>工具、器具及び備品</td><td style="text-align: right;">2</td></tr> <tr><td>ソフトウェア</td><td style="text-align: right;">0</td></tr> <tr><td>計</td><td style="text-align: right;">34</td></tr> </table>	建物及び構築物	6百万円	機械装置及び運搬具	24	工具、器具及び備品	2	ソフトウェア	0	計	34																																		
建物及び構築物	16百万円																																																						
機械装置及び運搬具	8																																																						
工具、器具及び備品	2																																																						
撤去費用	10																																																						
計	37																																																						
建物及び構築物	6百万円																																																						
機械装置及び運搬具	24																																																						
工具、器具及び備品	2																																																						
ソフトウェア	0																																																						
計	34																																																						
<p>※6 減損損失の内訳は次のとおりであります。 当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種 類</th> <th>場 所</th> <th>金 額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遊休</td> <td>土地・建物等</td> <td>岐阜県大垣市</td> <td style="text-align: right;">67</td> </tr> <tr> <td>遊休</td> <td>土地</td> <td>岐阜県関市</td> <td style="text-align: right;">8</td> </tr> <tr> <td>遊休</td> <td>土地</td> <td>富山県西砺波郡</td> <td style="text-align: right;">5</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">82</td> </tr> </tbody> </table> <p>(経緯) 上記の土地・建物等は、賃貸しておりましたが、その一部が賃貸されなくなったため遊休資産となっております。</p>	用途	種 類	場 所	金 額 (百万円)	遊休	土地・建物等	岐阜県大垣市	67	遊休	土地	岐阜県関市	8	遊休	土地	富山県西砺波郡	5	計			82	<p>※6 減損損失の内訳は次のとおりであります。 当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>種 類</th> <th>場 所</th> <th>金 額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遊休</td> <td>土地・建物</td> <td>岐阜県大垣市</td> <td style="text-align: right;">27</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">27</td> </tr> </tbody> </table> <p>(経緯) 上記の土地・建物等は、賃貸しておりましたが、その一部が賃貸されなくなったため遊休資産となっております。 今後の利用計画も無く、地価も著しく下落しているため、減損損失を認識いたしました。</p>	用途	種 類	場 所	金 額 (百万円)	遊休	土地・建物	岐阜県大垣市	27	計			27																						
用途	種 類	場 所	金 額 (百万円)																																																				
遊休	土地・建物等	岐阜県大垣市	67																																																				
遊休	土地	岐阜県関市	8																																																				
遊休	土地	富山県西砺波郡	5																																																				
計			82																																																				
用途	種 類	場 所	金 額 (百万円)																																																				
遊休	土地・建物	岐阜県大垣市	27																																																				
計			27																																																				

前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
<p>また、土地については、厚生施設建設予定地として取得いたしました。遊休資産となっております。</p> <p>今後の利用計画も無く、地価も著しく下落しているため、減損損失を認識いたしました。</p> <p>(グルーピングの方法)</p> <p>事業部門別を基本とし、製造部門においては製造品目を単位とし、将来の使用が見込まれていない遊休資産については個々の物件単位でグルーピングをしております。</p> <p>(回収可能価額の算定方法等)</p> <p>当資産グループの回収可能価額は、正味売却価額により測定しており、固定資産税評価額に基づいて評価しております。</p>	<p>(グルーピングの方法)</p> <p>事業部門別を基本とし、製造部門においては製造品目を単位とし、将来の使用が見込まれていない遊休資産については個々の物件単位でグルーピングをしております。</p> <p>(回収可能価額の算定方法等)</p> <p>当資産グループの回収可能価額は、正味売却価額により測定しており、固定資産税評価額に基づいて評価しております。</p>

(連結株主資本等変動計算書関係)

当連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	9,771,000	—	—	9,771,000

2 自己株式に関する事項

株式の種類	前連結会計年度末	増加	減少	当連結会計年度末
普通株式(株)	4,390	—	—	4,390

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額 (円)	基準日	効力発生日
平成18年6月28日 定時株主総会	普通株式	39	4.00	平成18年3月31日	平成18年6月29日
平成18年11月15日 取締役会	普通株式	39	4.00	平成18年9月30日	平成18年12月8日

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成19年6月21日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	39	4.00	平成19年3月31日	平成19年6月22日

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
<p>※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p>現金及び預金勘定 2,681百万円</p> <p>預入期間が3カ月を超える定期預金 △695</p> <p>現金及び現金同等物 1,986</p>	<p>※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <p>現金及び預金勘定 1,688百万円</p> <p>預入期間が3カ月を超える定期預金 △895</p> <p>現金及び現金同等物 793</p>

(セグメント情報)

1 事業の種類別セグメント情報

前連結会計年度(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

	プレス成形部品 事業(百万円)	金型事業 (百万円)	自動車販売 事業(百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	28,537	3,084	3,124	34,747	—	34,747
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	29	264	11	305	(305)	—
計	28,567	3,349	3,136	35,053	(305)	34,747
営業費用	27,208	2,833	3,181	33,222	458	33,681
営業利益又は営業損失(△)	1,359	516	△44	1,830	(764)	1,065
II 資産、減価償却費、 減損損失及び資本的支出						
資産	24,833	3,709	1,480	30,022	4,114	34,137
減価償却費	3,107	123	39	3,270	20	3,290
減損損失	—	—	67	67	14	82
資本的支出	6,064	270	352	6,687	524	7,212

当連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	プレス成形部品 事業(百万円)	金型事業 (百万円)	自動車販売 事業(百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	34,507	2,854	2,890	40,252	—	40,252
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	555	11	567	(567)	—
計	34,507	3,410	2,902	40,820	(567)	40,252
営業費用	32,354	2,898	2,924	38,177	284	38,461
営業利益又は営業損失(△)	2,153	511	△22	2,642	(851)	1,790
II 資産、減価償却費、 減損損失及び資本的支出						
資産	28,115	3,166	1,327	32,609	3,570	36,179
減価償却費	3,857	175	58	4,090	48	4,139
減損損失	—	—	27	27	—	27
資本的支出	5,289	510	1	5,800	11	5,812

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品または事業の内容

(1) プレス成形部品事業……車体プレス部品、精密プレス部品、樹脂製品、試作品その他

(2) 金型事業……金型、治具・検査具

(3) 自動車販売事業……自動車の販売・修理

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(前連結会計年度733百万円、当連結会計年度785百万円)の主なものは、当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

4 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産(前連結会計年度4,165百万円、当連結会計年度3,776百万円)の主なものは、当社での余資運用資金(預金)、長期投資資金(投資有価証券)および総務部門等管理部門に係る資産等であります。

2 所在地別セグメント情報

前連結会計年度(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	20,756	13,990	34,747	—	34,747
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	910	221	1,131	(1,131)	—
計	21,667	14,211	35,878	(1,131)	34,747
営業費用	20,475	13,571	34,046	(364)	33,681
営業利益	1,192	640	1,832	(766)	1,065
II 資産	16,408	14,160	30,568	3,568	34,137

当連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	23,548	16,704	40,252	—	40,252
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,447	227	1,674	(1,674)	—
計	24,995	16,931	41,927	(1,674)	40,252
営業費用	23,465	15,946	39,412	(950)	38,461
営業利益	1,529	985	2,514	(724)	1,790
II 資産	15,397	17,865	33,263	2,916	36,179

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国または地域
アジア……………タイ王国、中華人民共和国

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用(前連結会計年度733百万円、当連結会計年度785百万円)の主なものは、当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

4 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産(前連結会計年度4,165百万円、当連結会計年度3,776百万円)の主なものは、当社での余資運用資金(預金)、長期投資資金(投資有価証券)および総務部門等管理部門に係る資産等であります。

3 海外売上高

前連結会計年度(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

	アジア	北米	計
I 海外売上高(百万円)	14,398	35	14,433
II 連結売上高(百万円)			34,747
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	41.4	0.1	41.5

当連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	アジア	北米	計
I 海外売上高(百万円)	17,126	9	17,135
II 連結売上高(百万円)			40,252
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	42.6	0.0	42.6

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国または地域
 アジア……タイ王国、中華人民共和国、台湾、インド
 北米……アメリカ、カナダ

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上であります。

(関連当事者との取引)

前連結会計年度(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

1 親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	住所	資本金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等の 被所有割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員の 兼任等	事業上 の関係				
その他の 関係 会社	本田技研 工業株式 会社	東京都 港区	86,067	輸送用機械 器具および 原動機、農 機具その他 の一般機械 器具の製造 および販売	直接 20.37 間接 —	転籍3名	当社製品 の販売およ び原材料の 購入	車体プレス 部品等の販 売	10,806	売掛金	1,662
								原材料の購 入	4,325	買掛金	1,075

(注) 1 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (1) 当社製品の販売については、総原価を勘案して当社希望価格を提示し、当社と関連を有しない他の取引先と同様、一般の条件によっております。
 - (2) 原材料の購入については、市場価格を参考に価格交渉のうえ、当社と関連を有しない他の取引先と同様、一般の条件によっております。
- 2 取引金額は消費税等抜きの金額で、期末残高は消費税等込みの金額で記載しております。

当連結会計年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

1 親会社及び法人主要株主等

属性	会社等の名称	住所	資本金 (百万円)	事業の内容 又は職業	議決権等の 被所有割合 (%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員の 兼任等	事業上 の関係				
その他の 関係 会社	本田技研 工業株式 会社	東京都 港区	86,067	輸送用機械 器具および 原動機、農 機具その他 の一般機械 器具の製造 および販売	直接 20.37 間接 —	転籍3名	当社製品 の販売およ び原材料の 購入	車体プレス 部品等の販 売	13,469	売掛金	1,282
								原材料の購 入	6,119	買掛金	1,112

(注) 1 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (1) 当社製品の販売については、総原価を勘案して当社希望価格を提示し、当社と関連を有しない他の取引先と同様、一般の条件によっております。
 - (2) 原材料の購入については、市場価格を参考に価格交渉のうえ、当社と関連を有しない他の取引先と同様、一般の条件によっております。
- 2 取引金額は消費税等抜きの金額で、期末残高は消費税等込みの金額で記載しております。

(開示の省略)

リース取引、税効果会計、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストック・オプション等、企業結合等に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略します。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
1株当たり純資産額	612円21銭	1株当たり純資産額	727円09銭
1株当たり当期純利益	40円43銭	1株当たり当期純利益	67円27銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。	

(注)算定上の基礎

1. 1株当たり当期純資産

	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
連結貸借対照表上の当期純資産の部の合計金額(百万円)	—	9,564
普通株式に係る当期純資産額(百万円)	—	7,101
差額の主な内訳(百万円) 少数株主持分	—	2,463
普通株式の期末発行済株式数(千株)	—	9,766

2. 1株当たり当期純利益

	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
連結損益計算書上の当期純利益(百万円)	354	656
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	354	656
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,774	9,766

5 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

区分	注記 番号	第48期 (平成18年3月31日)		第49期 (平成19年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金		1,232		1,056	
2 受取手形		169		54	
3 売掛金	※2	3,519		3,392	
4 製品		94		94	
5 原材料		135		108	
6 仕掛品		1,593		855	
7 貯蔵品		60		63	
8 前払費用		28		31	
9 繰延税金資産		125		160	
10 関係会社短期貸付金		214		359	
11 未収入金		564		376	
12 その他		39		131	
流動資産合計		7,777	32.3	6,683	29.2
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	※1	4,181		4,189	
減価償却累計額		△1,916	2,265	△2,026	2,162
(2) 構築物		373		374	
減価償却累計額		△242	130	△258	116
(3) 機械及び装置	※1	8,470		8,404	
減価償却累計額		△6,675	1,794	△6,649	1,755
(4) 車両運搬具		67		69	
減価償却累計額		△54	12	△52	16
(5) 工具、器具及び備品	※1	18,151		19,862	
減価償却累計額		△15,579	2,571	△17,346	2,515
(6) 土地	※1		1,449		1,449
(7) 建設仮勘定			743		868
有形固定資産合計		8,967	37.2	8,884	38.8
2 無形固定資産					
(1) 借地権		64		64	
(2) 商標権		0		—	
(3) ソフトウェア		48		91	
(4) その他		5		6	
無形固定資産合計		119	0.5	161	0.7

区分	注記 番号	第48期 (平成18年3月31日)		第49期 (平成19年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	※1	1,976		2,259	
(2) 関係会社株式		701		550	
(3) 出資金		2		1	
(4) 関係会社出資金		3,429		3,429	
(5) 長期前払費用		8		3	
(6) 長期預金		200		—	
(7) 会員権		127		108	
(8) 投資不動産	※1	796		652	
(9) 前払年金費用		45		36	
(10) その他		25		26	
貸倒引当金		△25		△13	
投資損失引当金		△58		△58	
投資その他の資産合計		7,230	30.0	7,148	31.3
固定資産合計		16,317	67.7	16,195	70.8
資産合計		24,094	100.0	22,879	100.0
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形		141		128	
2 買掛金		2,881		3,057	
3 短期借入金	※7	—		—	
4 1年内返済予定 長期借入金	※1	2,811		2,352	
5 未払金		523		574	
6 未払費用		158		170	
7 未払消費税等		—		155	
8 未払法人税等		12		209	
9 前受金		188		263	
10 預り金		15		14	
11 賞与引当金		250		275	
12 役員賞与引当金		7		14	
13 設備関係支払手形		307		4	
14 その他		0		0	
流動負債合計		7,298	30.3	7,221	31.6
II 固定負債					
1 長期借入金	※1	10,624		9,011	
2 繰延税金負債		252		290	
3 退職給付引当金		487		548	
4 役員退職慰労引当金		100		103	
5 その他		7		7	
固定負債合計		11,471	47.6	9,961	46.5
負債合計		18,769	77.9	17,182	75.1

区分	注記 番号	第48期 (平成18年3月31日)		第49期 (平成19年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資本の部)					
I 資本金	※3		1,037	4.3	—
II 資本剰余金					
1 資本準備金		935			—
資本剰余金合計			935	3.9	—
III 利益剰余金					
1 利益準備金		94			—
2 任意積立金					
(1) 別途積立金		2,261			—
3 当期末処分利益		267			—
利益剰余金合計			2,622	10.9	—
IV その他有価証券評価差額金	※6		730	3.0	—
V 自己株式	※4		△2	△ 0.0	—
資本合計			5,324	22.1	—
負債・資本合計			24,094	100.0	—

区分	注記 番号	第48期 (平成18年3月31日)		第49期 (平成19年3月31日)	
		金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金		—	—	1,037	4.5
2 資本剰余金					
(1) 資本準備金		—		935	
資本剰余金合計		—	—	935	4.1
3 利益剰余金					
(1) 利益準備金		—		94	
(2) その他利益剰余金					
別途積立金		—		2,311	
繰越利益剰余金		—		496	
利益剰余金合計		—	—	2,902	12.7
4 自己株式		—	—	△2	△0.0
株主資本合計		—	—	4,873	21.3
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価 差額金		—		823	
評価・換算差額等合計		—	—	823	3.6
純資産合計		—	—	5,697	24.9
負債純資産合計		—	—	22,879	100.0

(2) 損益計算書

区分	注記 番号	第48期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)			第49期 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		
		金額(百万円)		百分比 (%)	金額(百万円)		百分比 (%)
I 売上高			18,542	100.0		22,104	100.0
II 売上原価							
1 製品期首たな卸高		97			94		
2 当期製品仕入高		63			28		
3 当期製品製造原価	※1	16,294			19,482		
合計		16,455			19,604		
4 製品期末たな卸高		94	16,361	88.2	94	19,510	88.3
売上総利益			2,180	11.8		2,594	11.7
III 販売費及び一般管理費							
1 運搬費		564			697		
2 役員報酬		137			114		
3 給料及び賞与		277			270		
4 役員賞与引当金繰入額		7			14		
5 賞与引当金繰入額		28			31		
6 役員退職慰勞引当金繰入額		12			12		
7 退職給付費用		27			25		
8 法定福利費		64			69		
9 福利厚生費		57			61		
10 旅費交通費		51			57		
11 減価償却費		22			51		
12 研究開発費	※1	154			170		
13 地代家賃		22			22		
14 その他		284	1,710	9.3	306	1,905	8.6
営業利益			470	2.5		688	3.1
IV 営業外収益							
1 受取利息	※2	3			3		
2 受取配当金	※2	73			89		
3 受取地代家賃	※2	37			52		
4 受取保険金		8			0		
5 その他	※2	40	163	0.9	52	197	0.9
V 営業外費用							
1 支払利息		197			197		
2 その他		36	234	1.2	33	230	1.0
経常利益			399	2.2		655	3.0

区分	注記 番号	第48期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		第49期 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
		金額(百万円)	百分比 (%)	金額(百万円)	百分比 (%)
VI 特別利益					
1 固定資産売却益	※3	3		7	
2 投資有価証券売却益		0		—	
3 貸倒引当金戻入益		1	6	3	10
			0.0		0.0
VII 特別損失					
1 固定資産売却損	※4	0		—	
2 固定資産廃棄損	※5	34		33	
3 減損損失	※6	82		27	
4 会員権評価損等		0	117	0	61
			0.6		0.3
税引前当期純利益			287		604
			1.6		2.7
法人税、住民税 及び事業税		141		307	
法人税等調整額		3	145	△60	247
			0.8		1.1
当期純利益			142		357
			0.8		1.6
前期繰越利益			160		—
中間配当額			35		—
当期未処分利益			267		—

(3) 利益処分計算書

		第48期 (平成18年3月期)	
区分	注記 番号	金額(百万円)	
I 当期末処分利益			267
II 利益処分額			
1 配当金		39	
2 任意積立金			
(1) 別途積立金		50	89
III 次期繰越利益			178

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成18年3月31日残高(百万円)	1,037	935	935
事業年度中の変動額			
別途積立金の積立(注)			
剰余金の配当(注)			
当期純利益			
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)			
事業年度中の変動額合計(百万円)	—	—	—
平成19年3月31日残高(百万円)	1,037	935	935

	株主資本					自己株式	株主資本合計
	利益剰余金				利益剰余金合計		
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
別途積立金		繰越利益剰余金					
平成18年3月31日残高(百万円)	94	2,261	267	2,622	△2	4,594	
事業年度中の変動額							
別途積立金の積立(注)		50	△50	—		—	
剰余金の配当(注)			△78	△78		△78	
当期純利益			357	357		357	
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)							
事業年度中の変動額合計(百万円)	—	50	229	279	—	279	
平成19年3月31日残高(百万円)	94	2,311	496	2,902	△2	4,873	

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高(百万円)	730	730	5,324
事業年度中の変動額			
別途積立金の積立(注)			—
剰余金の配当(注)			△78
当期純利益			357
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	93	93	93
事業年度中の変動額合計(百万円)	93	93	372
平成19年3月31日残高(百万円)	823	823	5,697

(注)平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

(6) 重要な会計方針の変更

(会計処理の変更)

第48期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	第49期 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
<p>(固定資産の減損に係る会計基準)</p> <p>当事業年度から「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日)を適用しております。</p> <p>これにより税引前当期純利益は82百万円減少しております。</p> <p>なお、減損損失累計額については、改正後の財務諸表等規則に基づき各資産の金額から直接控除しております。</p>	<p>(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等)</p> <p>当事業年度から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準第5号)および「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成17年12月9日 企業会計基準適用指針第8号)を適用しております。</p> <p>これによる損益に与える影響はありません。</p> <p>なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は5,697百万円であります。</p>

(7) 個別財務諸表に関する注記事項

(損益計算書関係)

第48期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	第49期 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)																																
<p>※6 減損損失の内訳は次のとおりであります。</p> <p>当社は、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">用途</th> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">場所</th> <th style="text-align: center;">金額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">遊休</td> <td style="text-align: center;">投資不動産</td> <td style="text-align: center;">岐阜県大垣市</td> <td style="text-align: center;">67</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">遊休</td> <td style="text-align: center;">土地</td> <td style="text-align: center;">岐阜県関市</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">遊休</td> <td style="text-align: center;">土地</td> <td style="text-align: center;">富山県西砺波郡</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">82</td> </tr> </tbody> </table> <p>(経緯)</p> <p>上記の投資不動産は、賃貸しておりましたが、その一部が賃貸されなくなったため遊休資産となっております。</p> <p>また、土地については、厚生施設建設予定地として取得いたしました。遊休資産となっております。</p> <p>今後の利用計画も無く、地価も著しく下落しているため、減損損失を認識いたしました。</p> <p>(グルーピングの方法)</p> <p>事業部門別を基本とし、製造部門においては製造品目を単位とし、将来の使用が見込まれていない遊休資産については個々の物件単位でグルーピングをしております。</p> <p>(回収可能価額の算定方法等)</p> <p>当資産グループの回収可能価額は、正味売却価額により測定しており、固定資産税評価額に基づいて評価しております。</p>	用途	種類	場所	金額 (百万円)	遊休	投資不動産	岐阜県大垣市	67	遊休	土地	岐阜県関市	8	遊休	土地	富山県西砺波郡	5	計			82	<p>※6 減損損失の内訳は次のとおりであります。</p> <p>当社は、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">用途</th> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">場所</th> <th style="text-align: center;">金額 (百万円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">遊休</td> <td style="text-align: center;">土地・建物</td> <td style="text-align: center;">岐阜県大垣市</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">27</td> </tr> </tbody> </table> <p>(経緯)</p> <p>上記の土地・建物は、用途変更により使用されなくなったため遊休資産となっております。</p> <p>今後の利用計画も無く、地価も著しく下落しているため、減損損失を認識いたしました。</p> <p>(グルーピングの方法)</p> <p>事業部門別を基本とし、製造部門においては製造品目を単位とし、将来の使用が見込まれていない遊休資産については個々の物件単位でグルーピングをしております。</p> <p>(回収可能価額の算定方法等)</p> <p>当資産グループの回収可能価額は、正味売却価額により測定しており、固定資産税評価額に基づいて評価しております。</p>	用途	種類	場所	金額 (百万円)	遊休	土地・建物	岐阜県大垣市	27	計			27
用途	種類	場所	金額 (百万円)																														
遊休	投資不動産	岐阜県大垣市	67																														
遊休	土地	岐阜県関市	8																														
遊休	土地	富山県西砺波郡	5																														
計			82																														
用途	種類	場所	金額 (百万円)																														
遊休	土地・建物	岐阜県大垣市	27																														
計			27																														

6 その他

(1) 役員の変動（平成19年6月21日付予定）

1. 新任取締役候補

専務取締役 浅贺 徹（現 社長付参事）

2. 新任監査役候補

監査役 岡田正市（現 取締役）

3. 退任予定取締役

取締役 岡田正市

取締役 广泽藤男

4. 退任予定監査役

監査役 清水忠义

平成19年3月期決算発表（参考資料）

1. 連結情報

(1) 業績の推移

(単位：百万円)

区 分 \ 期 別	平成17年3月期 (実績)		平成18年3月期 (実績)		平成19年3月期 (実績)		平成20年3月期 (予想)	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売 上 高	29,155	119.2%	34,747	119.2%	40,252	115.8%	42,000	104.3%
営 業 利 益	1,038	110.3	1,065	102.6	1,790	168.0	1,900	106.1
経 常 利 益	834	118.8	786	94.3	1,338	170.2	1,400	104.6
当 期 純 利 益	458	86.6	354	77.4	656	185.2	700	106.6

(2) 事業の種類別セグメント売上高の推移

(単位：百万円)

区 分 \ 期 別	平成17年3月期 (実績)		平成18年3月期 (実績)		平成19年3月期 (実績)		平成20年3月期 (予想)	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
プレス成形部品事業	22,812	120.8%	28,537	125.1%	34,507	120.9%	36,682	106.3%
金 型 事 業	3,429	130.3	3,084	90.0	2,854	92.5	2,297	80.5
自 動 車 販 売 事 業	2,913	99.4	3,124	107.2	2,890	92.5	3,021	104.5
合 計	29,155	119.2	34,747	119.2	40,252	115.8	42,000	104.3

2. 個別情報

(1) 業績の推移

(単位：百万円)

区 分 \ 期 別	平成17年3月期 (実績)		平成18年3月期 (実績)		平成19年3月期 (実績)		平成20年3月期 (予想)	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売 上 高	18,251	116.9%	18,542	101.6%	22,104	119.2%	21,500	97.3%
営 業 利 益	789	200.2	470	59.5	688	146.5	500	72.6
経 常 利 益	664	234.2	399	60.1	655	164.3	350	53.4
当 期 純 利 益	340	195.9	142	41.8	357	251.4	180	50.4

(2) 製品区分別売上高の推移

(単位：百万円)

区 分 \ 期 別	平成17年3月期 (実績)		平成18年3月期 (実績)		平成19年3月期 (実績)		平成20年3月期 (予想)		
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	
プ レ ス 成 形 部 品 事 業	車体プレス部品	10,843	106.3%	12,098	111.6%	14,978	123.8%	15,366	102.6%
	精密プレス部品	906	109.5	832	91.7	720	86.6	688	95.5
	樹脂製品	987	125.7	1,081	109.5	1,258	116.4	1,013	80.5
	試作品その他	1,507	193.0	1,732	114.9	2,218	128.0	1,467	66.1
	計	14,246	113.1	15,744	110.5	19,176	121.8	18,534	96.7
金 型 事 業	金 型	3,460	141.4	2,111	61.0	2,021	95.7	2,263	111.9
	治具・検査具	545	96.2	686	125.8	906	132.1	703	77.5
	計	4,005	132.9	2,798	69.9	2,928	104.7	2,966	101.3
合 計	18,251	116.9	18,542	101.6	22,104	119.2	21,500	97.3	

(3) 配当状況

期 別 区 分	平成17年3月期 (実 績)	平成18年3月期 (実 績)	平成19年3月期 (実 績)	平成20年3月期 (予 想)
	金 額	金 額	金 額	金 額
中 間 配 当	0 円 00 銭	4 円 00 銭	4 円 00 銭	4 円 00 銭
期 末 配 当	8 円 00 銭	4 円 00 銭	4 円 00 銭	4 円 00 銭
年 間 配 当	8 円 00 銭	8 円 00 銭	8 円 00 銭	8 円 00 銭

(4) 設備投資および減価償却費の推移

(単位：百万円)

期 別 区 分	平成17年3月期 (実 績)		平成18年3月期 (実 績)		平成19年3月期 (実 績)		平成20年3月期 (予 想)	
	金 額	前期比	金 額	前期比	金 額	前期比	金 額	前期比
設 備 投 資 額	1,995	% 90.0	3,003	% 150.5	2,331	% 77.6	2,174	% 93.3
減 価 償 却 費	1,769	114.5	2,092	118.3	2,313	110.6	2,106	91.1